



あやめだより

令和3年5月号

校長 戸田 太郎

縁あって、長岡南小学校に赴任して1ヶ月が経ちました。

朝、交通安全指導をしていると、登校中の子どもに出会います。とても気持ちのよいあいさつをする子がたくさんいて、うれしくなります。特に、目をしっかり見てあいさつをすることができ、ぺこんとお辞儀をしてくれる姿が、とても愛らしいです。きっとご家庭で、あいさつをすることの大切さを、きちんとご指導されているのだと推察されます。

また、校区を巡回していると、多くの地域の方々からあいさつをいただきます。明るく気持ちのよいあいさつをいただくと、同時に元気もいただきます。言葉には、その言葉がもつ意味だけではなく、気持ちも伝える力があります。

我が家の犬は、朝起きて目が合うと、まるで十年ぶりに会ったかのように、尻尾を振って喜びを表現します。仕事を終えて帰宅すると、また、まるで十年ぶりに…。これを13年間、毎日毎日続けています。

「おはよう」「おかえり」などは、毎日使う言葉です。それをただ習慣で発するのではなく、自分の気持ちを相手に伝えながら発していかなければならないと思います。発せられるひとつひとつの言葉に気持ちを込める大切さを、話すことができない犬から教わります。

(今日も元気でよかったね。)という気持ちや、(今日も頑張ったね。無事に家に帰ってね。)などという気持ちを、「おはようございます」や「さようなら」という言葉に込めて、これからも子どもたちに発していきたいと思います。



気持ちを込めるのは、あいさつだけではなく、ひとつひとつの言葉に。